

2013年9月26日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

二次電池用正極材料（ニッケル酸リチウム）の増産投資の実施について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、このたび二次電池用正極材料であるニッケル酸リチウムを増産するために、設備の増強投資を実施することとしました。

自動車市場においては、省エネルギー、環境負荷低減意識の高まりからハイブリッド車（以下「HEV」という）、電気自動車（以下「EV」という）の需要が急速に拡大しています。このHEV、EVの開発には、高性能の二次電池が欠かせませんが、当社は従来から自動車メーカーおよび二次電池メーカー等と共同で高機能、高品質の車載用二次電池正極材の開発に注力し、供給してまいりました。

当社は、パナソニック株式会社（以下「パナソニック」という）と共同で二次電池用正極材の一つである高性能のニッケル酸リチウムの開発に成功し、パナソニックに供給しています。このニッケル酸リチウムを使用したパナソニック製の円筒型リチウムイオン二次電池は、現行では世界最高水準のエネルギー密度を有しており、米国の電気自動車メーカーであるテスラモーターズ社（以下「テスラ」という）が製造するEVに搭載されています。

テスラが2012年6月から米国で納車を開始したプレミアム4ドアセダン「モデルS」は、2013年8月から欧州でも納車が開始され、さらに2014年春以降、日本を含むアジア地域への納車開始を控えています。パナソニックは、「モデルS」の販売拡大等の需要の増加が見込まれることからリチウムイオン電池の増産を計画しています。

当社は、こうした車載用二次電池市場の拡大に対応するために、このたび磯浦工場（愛媛県新居浜市）においてニッケル酸リチウムの生産設備の増強投資を実施することとしました。工事は2013年10月より開始し、2014年6月に完成する予定です。設備投資額は、約48億円を計画しています。これにより当社のニッケル酸リチウムの生産能力は、現行の月産300トンから850トンに増加します。

当社は、二次電池正極材の主原料であるニッケルを自社で生産できる強みを活かして、正極材の積極的な開発と安定的な供給に取り組んでいます。今後も「2012年中期経営計画」の達成に向けて環境・エネルギー分野向け材料事業の一層の強化を図ってまいります。

(本件に関するお問い合わせ先)

広報 IR 部 青野祥紀

TEL : 03-3436-7705

FAX : 03-3434-2215

(参考)

①テスラモーターズ社の概要

社名 : Tesla Motors, Inc.

CEO (最高経営責任者) : Elon Musk

設立 : 2003 年

本社 : 米国カリフォルニア州

②当社と二次電池メーカー、電気自動車メーカーの関係)

